



## ニュース&amp;トピックス

## 『親の会』がビデオで見られるようになりました

お仕事などで出席いただけなかった方のために、親の会のビデオをHPでご覧いただけるようにいたしました。90分以上と長いのでいくつかに分けて配信しています。トライアングルに登録したメールアドレスを入力していただければ、ご覧になった履歴がわか機能も搭載しました。現在、配信しているのは第2回ですが、随時アップしてまいりますのでお楽しみに。

<https://www.shizuoka-fukushi.or.jp/運営事業/放課後等デイサービストライアングル/勉強会/親の会>

## ご意見・ご感想をお寄せください

第2回目のニュースレター、いかがでしたか。まだまだ、内容を充実させていきたいと思っています。

皆様のご協力をお願いします。ご意見・ご感想等、なんでも結構です。下のメールアドレス宛にどしどしお送りください。よろしくお願ひします。

[triangle@shizuoka-fukushi.or.jp](mailto:triangle@shizuoka-fukushi.or.jp)

**散歩** 中に、甘いきんもくせいの香りが漂ってきて思わず足を止めました。いかがお過ごしですか？ ついこの間まで真夏のような暑さでしたが、いきなり秋がやってきたようです。朝晩はめっきり冷え込むようになりましたね。風邪などひかれませんよう、お子さんたちの健康に気をつけてあげてください。

ニュースレター第3号をお届けします。育児の参考にいただければ幸いです。

## トライアングルの名前

静岡大学 教育学部 特別支援教育 教授 香野 毅

**トラ** イアングルは、家庭・学校、そして放デイの3者によって描かれる三角形のイメージを名前にしています。この三角形の中心には子どもがいます。従来から、子どもたちの生活や成長を支えるには、関わる大人や関係機関の連携や協働が必要だといわれます。その具体的な実現を目指し、やるべきこと・やれそうなことを考え、判断し、実行する放デイでありたいと願っています。ここまでの取り組みをいくつか紹介します。



『保護者と話す機会を作る』トライアングルの特徴のひとつは送迎サービスを行わないことです。これによって保護者と顔を合わせ、お話しする機会が生み出されます。当所のときには、ここ数日の様子や体調、過ごし方などを聞かせてもらえます。お迎えでは、放デイでの過ごし方、気づいたことをお伝えすることができます。そこでは、願いやニーズ・がんばったこと・コツ・ヒント・手立てなどが話題になることもあります。いろいろな日々のお気持ちも交わすことができます。

保護者との面談も行ってきました。すでに5月と9月あたりの2回、面談を行ってきています。そこでは、普段よりもじっくりとお話しすることができてました。お互いに学びや気づきの多い時間でし、今後に向けた確認もできました。

『学校とキャッチボールする』5月末に個別支援計画（1st）を作成し、保護者を經由して、学校にお渡しすることができました。トライアングルでは、お子さんをこんな風に理解して、こんなことを目指していますよ！とボールを投げてみました。するとほとんどの学校から、学校はこういうところを課題にして、こんな風に支援していきますよ！とボールが返ってきました。このキャッチボールができたことは、大きなことです。一度できたキャッチボール関係は、次のやりとりを導きます。この間、いくつかの学校、先生からトライアングルとお子さんのことを話したいよ！と次のボールを投げてもらいましたので、もちろん私たちはそれに応えていきます。



さて以上がここまでの取り組みですが、『これからやりたいこと』もあります。子どもたちの生活は、学校と家庭とトライアングルだけでは

ありません。例えば医療機関・他の放デイ・祖父母のお家など、もっと多くの人とつながれることで、子どもの支えが豊かになると考えます。

またネットや情報ツールを活用して、共有しやすい仕組みも模索していきます。トライアングルの様子を、仕事のお父さんが見れる、学校の先生が確認できる、なんてこともいいかもしれません。こんなことどうかな！?の提案お待ちしております。



## ペアトレとは？



10月から始まるペアレント・トレーニング。講師をしてくださる野村和代先生にお話を伺いました。

**ネット** トや本など子育ての情報にはたくさんありますが、「結局どれがうちの子にいいの？」「本のままじゃマイチ…どうアレンジしたらいいの？」と思ったことはありませんか？ペアレント・トレーニングは、子どもへのよりよいかかわり方を学ぶための保護者向けプログラムです。専門家が使う技法を学び、実際に子どもにかかわり方を試しながら進めていきます。保護者同士の情報交換の時間でも学びを共有し深めていきます。親は子どもの一番の専門家ですが、近くにいるからこそその苦労もあるでしょう。少しでも楽に、楽しく子どもとよい時間を過ごせるお手伝いができればと思っています。

## 教室のひとこま



石川先生に学習用のアプリを見せてもらいました。どの子ども興味津々。「早く僕にもやらせてよう！」



地震に備えての避難訓練。防災頭巾をかぶって、真剣に岩崎先生のお話に耳を傾けていました。



普段は部屋の隅に置いてあるフロアマットを使って陣取りごっこ。鬼に捕まらないよう次の陣を目指してダッシュ！



みなんでお店やさんごっこをしました。ここではピザ屋さん。紙で作ったお財布からお金を出してお支払いです。

教室の様子はホームページでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

## 家庭で使ってほしい育児のヒント

**「な** んで、そんなことをするの?!」子どもが言うことを聞かなかったり、いけないと言われていて何を何度も繰り返したりすると、つい出てしまう言葉ですよね。実はこれ、答えを求めているようでそうではありません。興奮した状態では、子どもの答えは大抵言い訳にしか聞こえず、さらに怒りが爆発するということも多いはず。子どもは『否定された』『責められた』としか受け取れません。「自分はダメな子なんだ・・・」と自己イメージも下がってしまいます。

こんな時は、前回お伝えしたように、『存在』と『言動』を切り離して考えてみたらどうでしょうか。子ども自身ではなく行動に問題があるわけですから。オススメの言葉は「どうしたら、できるかな?」です。「こうしなさい」と押し付けるのではなく、自分で考えて解決する力をつけられるようにするのがポイントです。ポジティブな言葉でプラスのイメージづくりを!

## スタッフのオススメ～ひらがなトレーニング編～

**ひら** がなの習得が苦手な子は、音韻認識力の弱さが原因かもしれません

音韻認識力とは、単語が音のかたまりに分かれていることを認識し、その単語のどの音がどのような順番で並んでいるかを理解する力のことです。通常、音韻認識ができるようになるのは4歳半ごろと言われています。ひらがなを読むためには獲得しておかなければならない能力です。『読み書き』が苦手な子やディスレクシア（学習障害の一種で、知的能力・理解能力などに特に異常がないにもかかわらず、文字の読み書き学習に著しい困難を抱える障害）の子は、この音韻認識の弱さが『読み書き』を難しくしていると指摘されています。そこで、今回ご紹介するのが『音韻認識力をはぐくむ! ひらがなトレーニング』。小学校ことばの教室での実践研究をベースにして制作された教材で、耳と目と指先を使って、楽しくテンポよく学習しながら、ひらがな習得の基礎スキル＝音声認識力を高めることができるiPad用アプリです。お子さんの発達が気になる方は、ぜひお試しください。（石川 誠）



**編集後記** お友達の作った段ボールハウスが欲しくなったAくんは、思いを伝えますが断られてしまいます。思いが通じないAくんは、文句を言ったりハウスを蹴ったりでケンカに。このような時、スタッフはすぐに仲裁をせず、見守ることを基本にしています。子どもたちが自主的に考えて解決することも大事だと考えているからです。この後、お互いの気持ちを伝え合った2人は、気持ちがスッキリしたようで上手に仲直りができました。互いに目配せするスタッフに、安堵の笑みが浮かんだ瞬間でした。（K.I.）

## トライアングル

放課後等デイサービス

特定非営利活動法人 しずおか福祉の街づくり

放課後等デイサービス トライアングル

〒420-0032 静岡市葵区両替町1丁目7番5号 放生館2F

TEL: 054-273-1177 FAX: 054-266-4037

ホームページ: <https://www.shizuoka-fukushi.or.jp/>

メールアドレス: [triangle@shizuoka-fukushi.or.jp](mailto:triangle@shizuoka-fukushi.or.jp)